

第20期（2018年3月期） 決算のご説明

2018/5/10



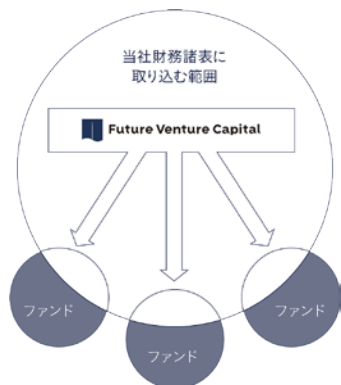
Future Venture Capital

当社では、当社の経営成績及び財務状態をよりの確に表すため、第19期までは投資事業組合の当社持分のみを連結した個別財務数値を記載してまいりましたが、投資事業組合の運営方針を見直し、**2016年12月31日付けで投資事業組合の大部分を連結の範囲から除外しております。**

一部を除いた投資事業組合において当社持分のみが連結されており、子会社の業績も反映していることから、第20期より連結財務数値を記載しております。

～19期

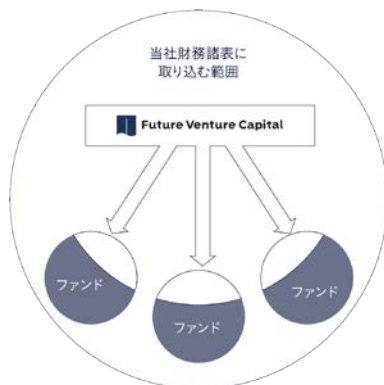
個別



当社の持分の割合のみ取り込み

個別財務数値を記載

連結

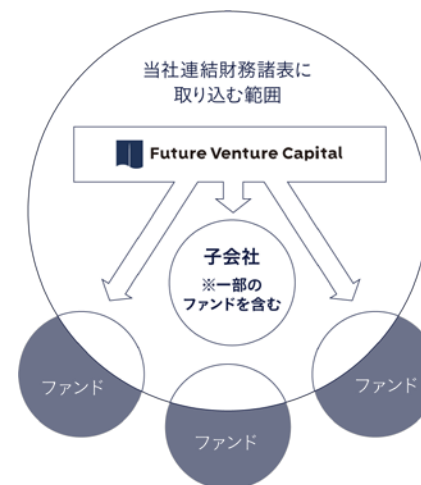


当社の持分の割合にかかわらず
ファンドを全て取り込む



20期～

連結



子会社及び一部を除いたファンドにおいて
当社の持分の割合のみ取り込む

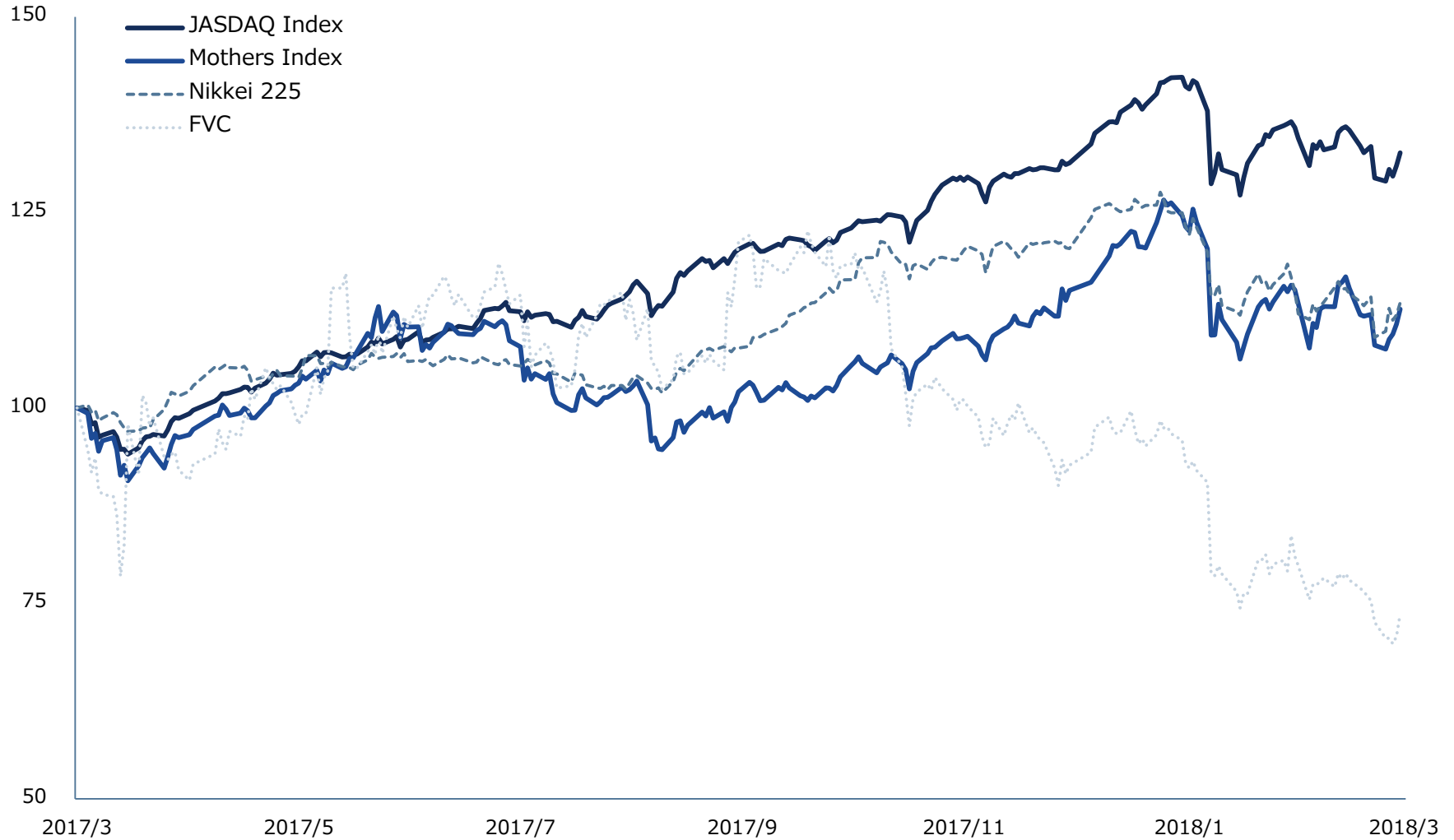
連結財務数値を記載

1. 市場環境	• • • • P.04
2. 決算説明	• • • • P.09
3. 主な取り組み	• • • • P.18
4. M&A	• • • • P.28

市場環境

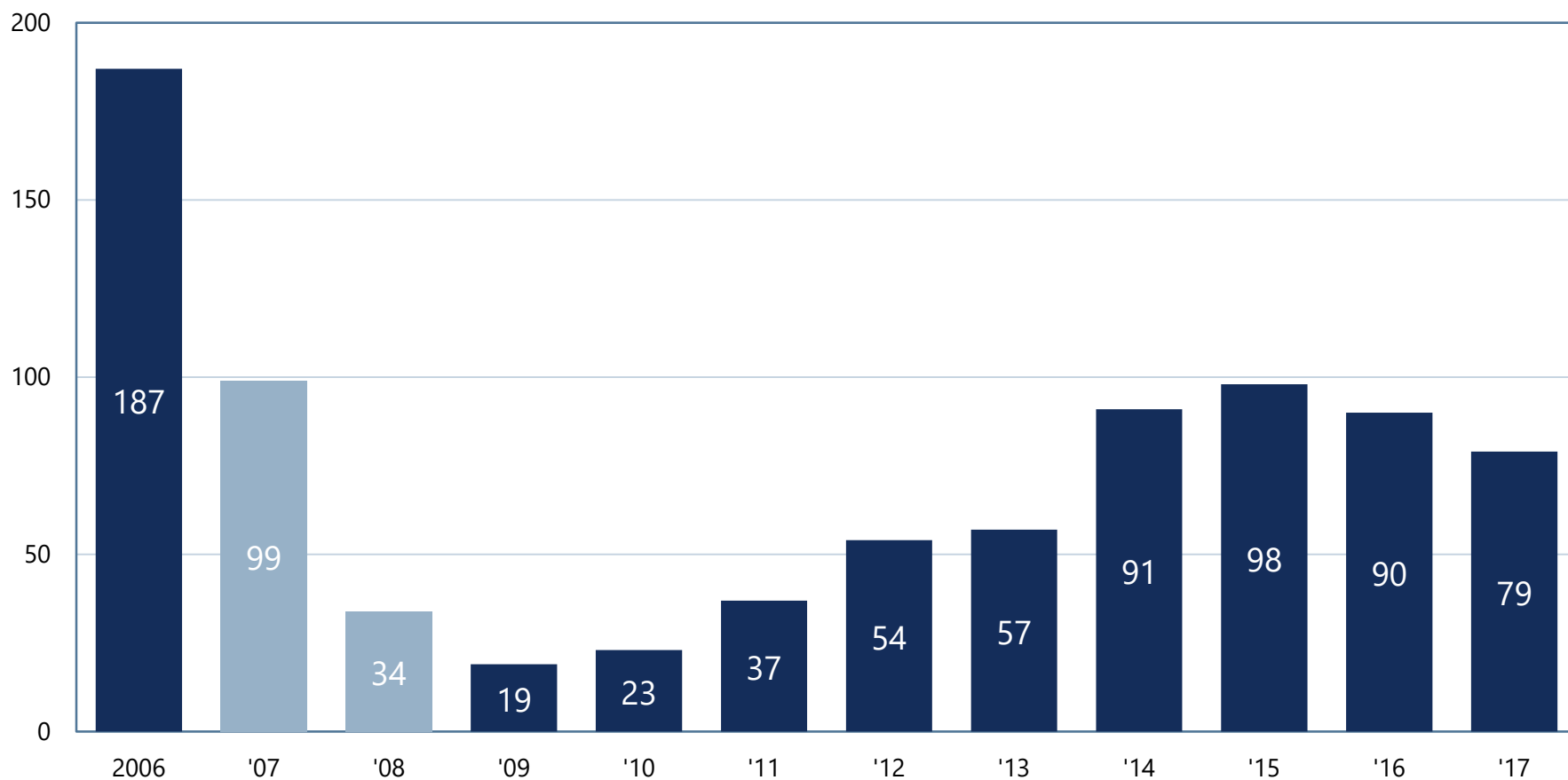


新興市場及び日経平均は堅調に推移



※2017年3月末を100とした指数

**79社が上場し、前年同期の90社から11社減。
2009年から新規上場は増加傾向にあったが、2015年をピークに減少に転じている。**



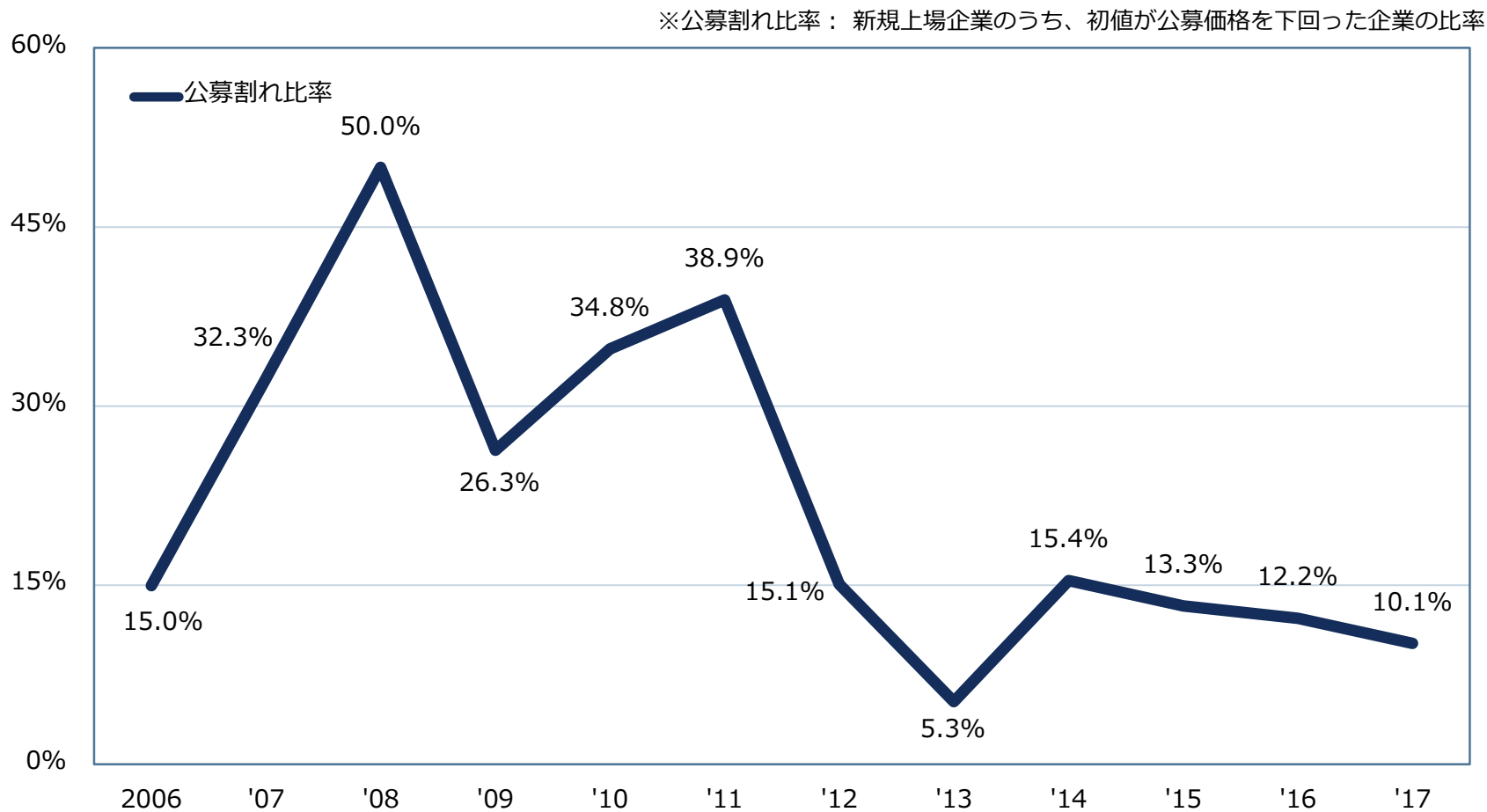
1.3. 新規上場市場の状況【平均初値騰落率】

上場した79社のうち、初値騰落率100%超えが41社で、
初値は高水準で推移している。

※初値騰落率：{ (初値 - 公募価格) / 公募価格 } × 100 (%)



2012年以降、初値が公募価格を下回るケースは限定的。



決算説明

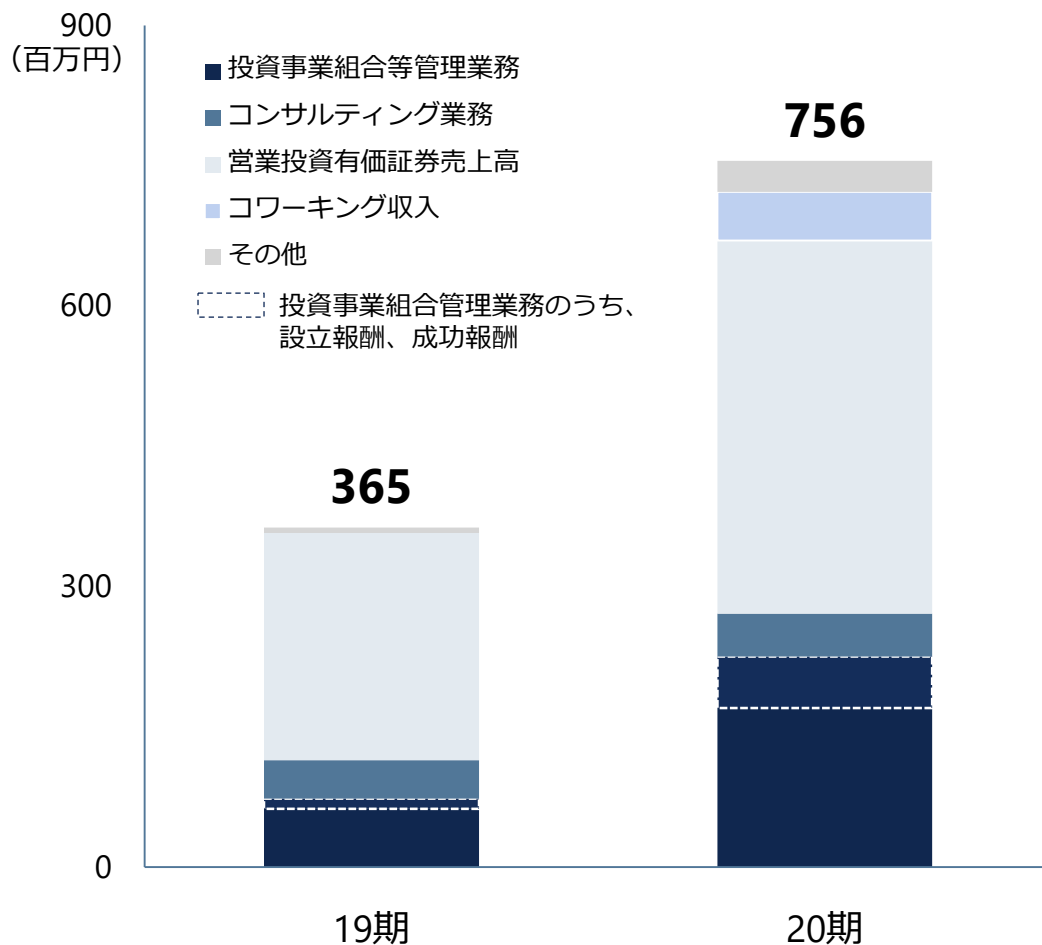


2.1.決算概要

単位：百万円	第19期	第20期	対前期比
売上高合計	365	756	391
ベンチャーキャピタル事業	365	699	334
コワーキング事業	—	56	56
セグメント損益合計	△650	181	831
ベンチャーキャピタル事業	△650	249	899
コワーキング事業	—	△68	△68
全社費用	—	△244	△244
営業損益	△650	△62	588
経常損益	△686	△67	619
特別利益	—	239	239
特別損失	35	343	308
当期純損益	△725	△188	537
親会社株主に帰属する当期純損益	△491	△293	198
純資産	3,431	3,041	△390
自己資本	3,183	2,873	△310
総資産	3,584	3,224	△360
自己資本比率	88.8%	89.1%	0.3

未上場企業の営業投資有価証券の売却、連結除外の影響を受けて管理報酬の額が増加（※）したこと等により、売上高は増収

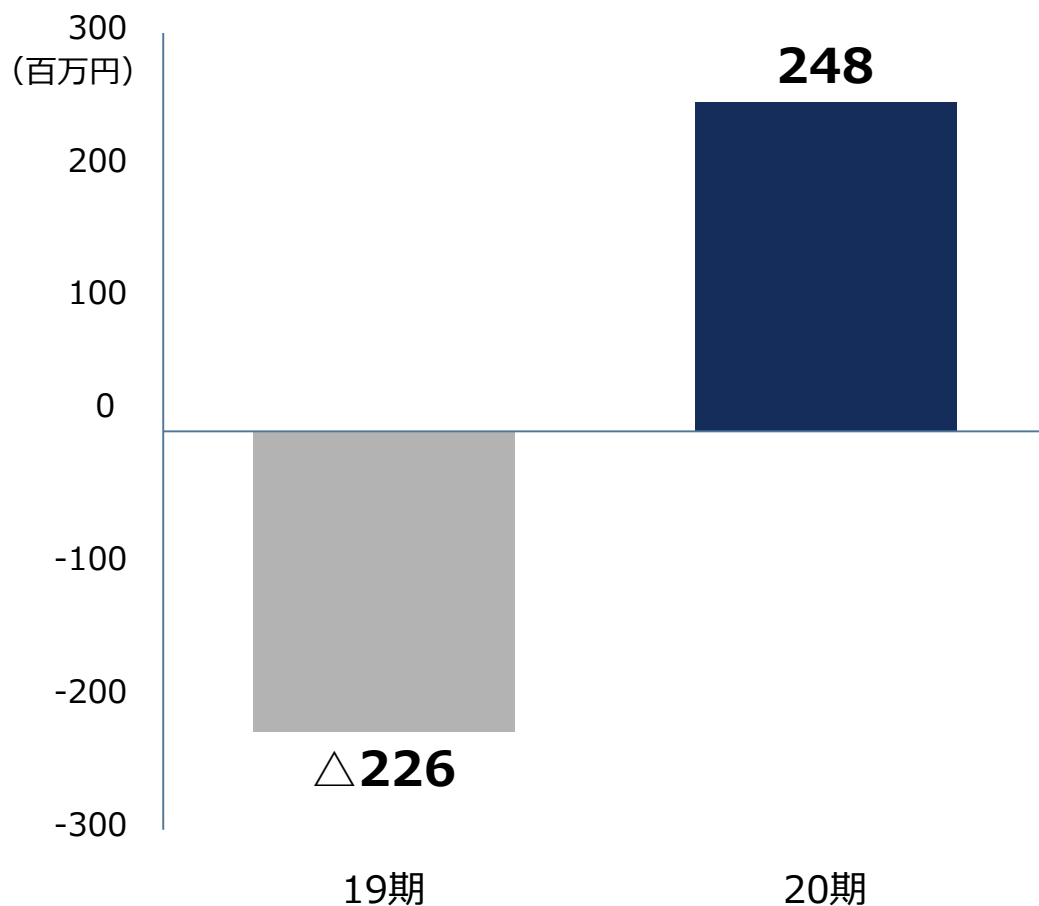
※内部取引として相殺消去されなくなったため



前期比
+ 391
百万円

営業投資有価証券の売却益、営業投資有価証券にかかる減損が少額であったことにより黒字転換

※ 営業投資有価証券にかかる損益 = 営業投資有価証券売却高 - 売却原価 + 売却にかかる投資損失引当金戻入額 - 減損等 + 減損等にかかる投資損失引当金戻入額 - 投資損失引当金繰入額



前期比
+474
百万円

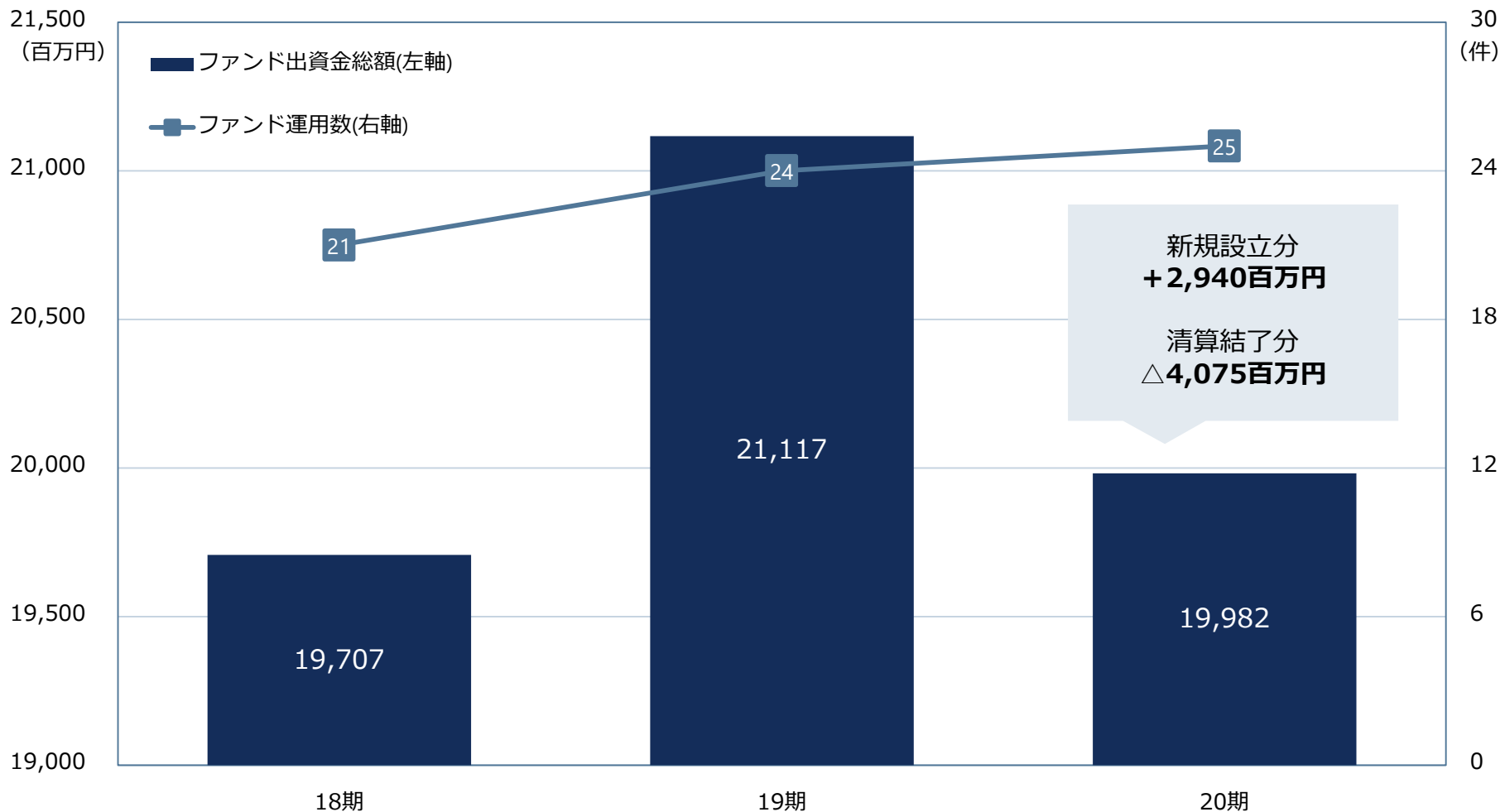
株式会社ZMPの株式を一部売却し、営業投資有価証券の売却益298百万円を計上



Robot of Everything

所在地	東京都文京区
事業内容	自律移動ロボットテクノロジー事業
資本金	1,302百万円
投資時点株価	20円
株式売却数	600,000株
売却価格	500円
投資倍率	25倍
残株数	1,800,000株
売却損益	298百万円（連結）、156百万円（個別）

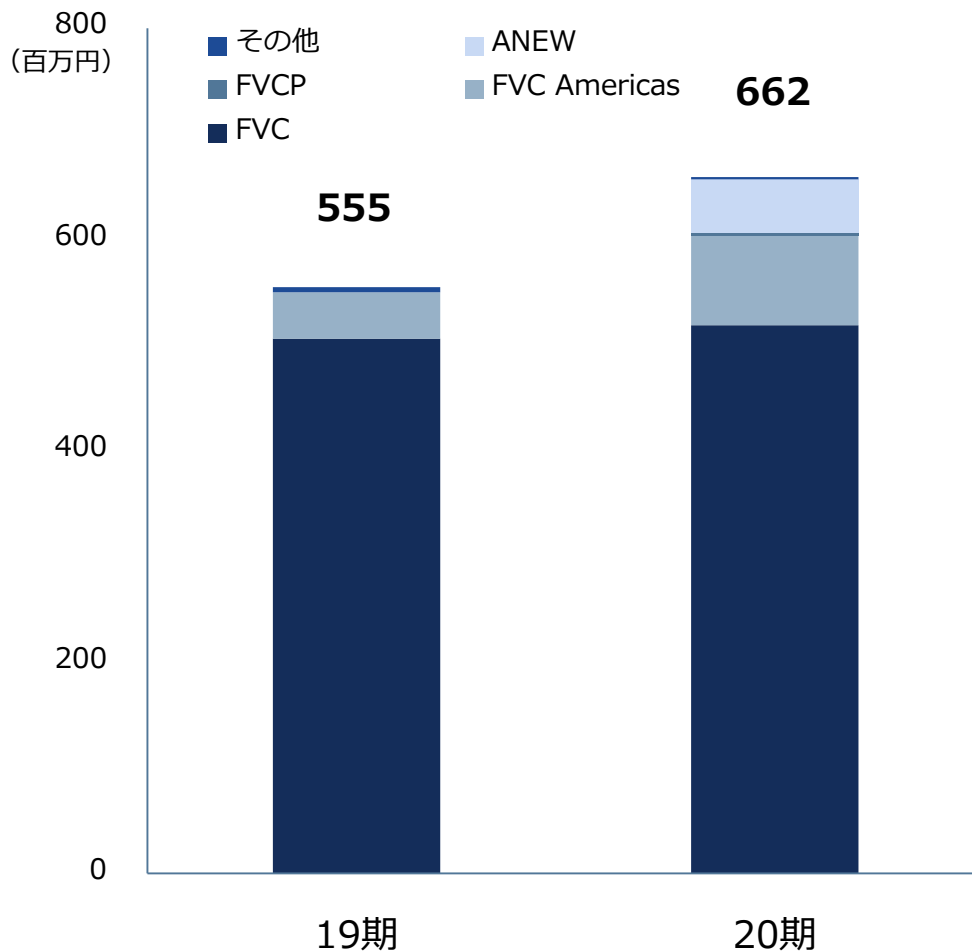
新設ファンドの設立によりファンド運用数は増加するが、 既存ファンドの清算終了により出資金総額は減少



※ FVC-EVO Growth Platform Fund Ltd. SPCは除いております。

子会社数の増加により経費は増加

※ 固定的費用 = 販売費および一般管理費 + 売上原価（営業部門における活動経費）

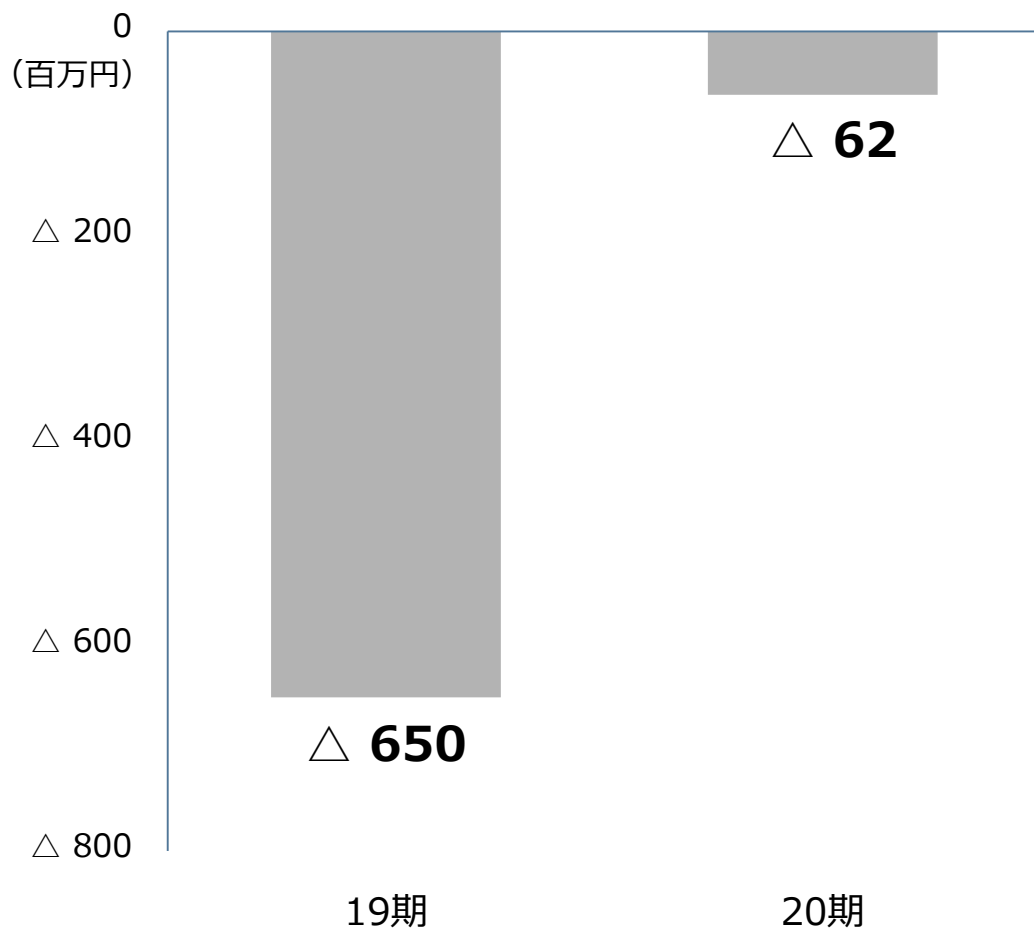


単位：百万円

	第19期	第20期	増減額
固定的費用	555	662	+107
FVC	506	519	+13
FVC Americas (※)	44	85	+41
FVCP	—	2	+2
ANEW (※)	—	51	+51
その他	5	2	-3

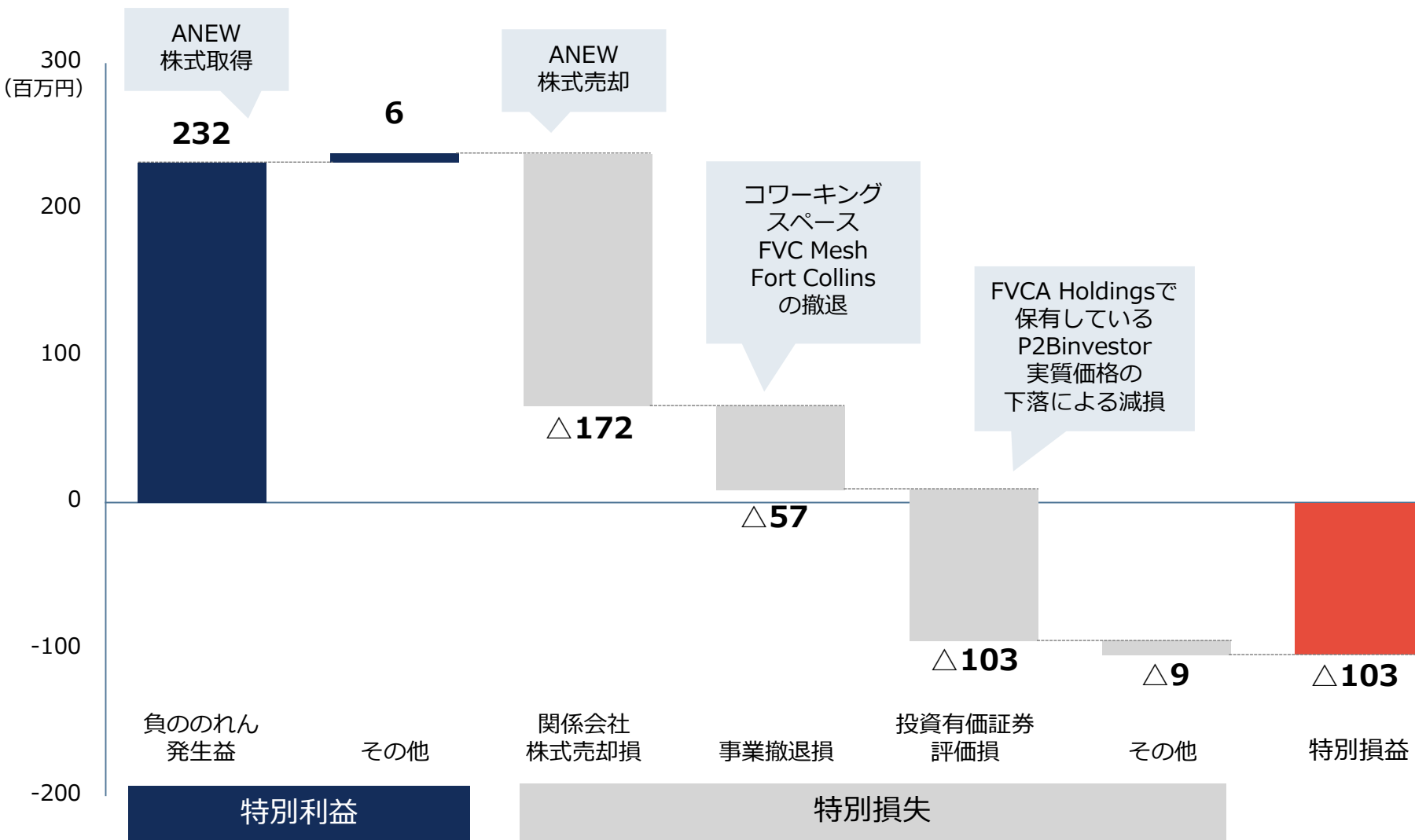
※ANEWは売却済み、FVC Americasはコワーキング施設の撤退により、経費減少となる見込み

営業投資有価証券の売却益、営業投資有価証券にかかる減損が少額であったことにより赤字幅は縮小



前期比
+ 588
百万円

特別利益239百万円、特別損失343百万円を計上



主な取り組み

2017/4~2018/3



「地方創生ファンド」と「CVCファンド」に注力

01

安定収益源確保のために、ニーズの高さを見せる「地方創生ファンド」と「CVCファンド」の新規設立を促進

02

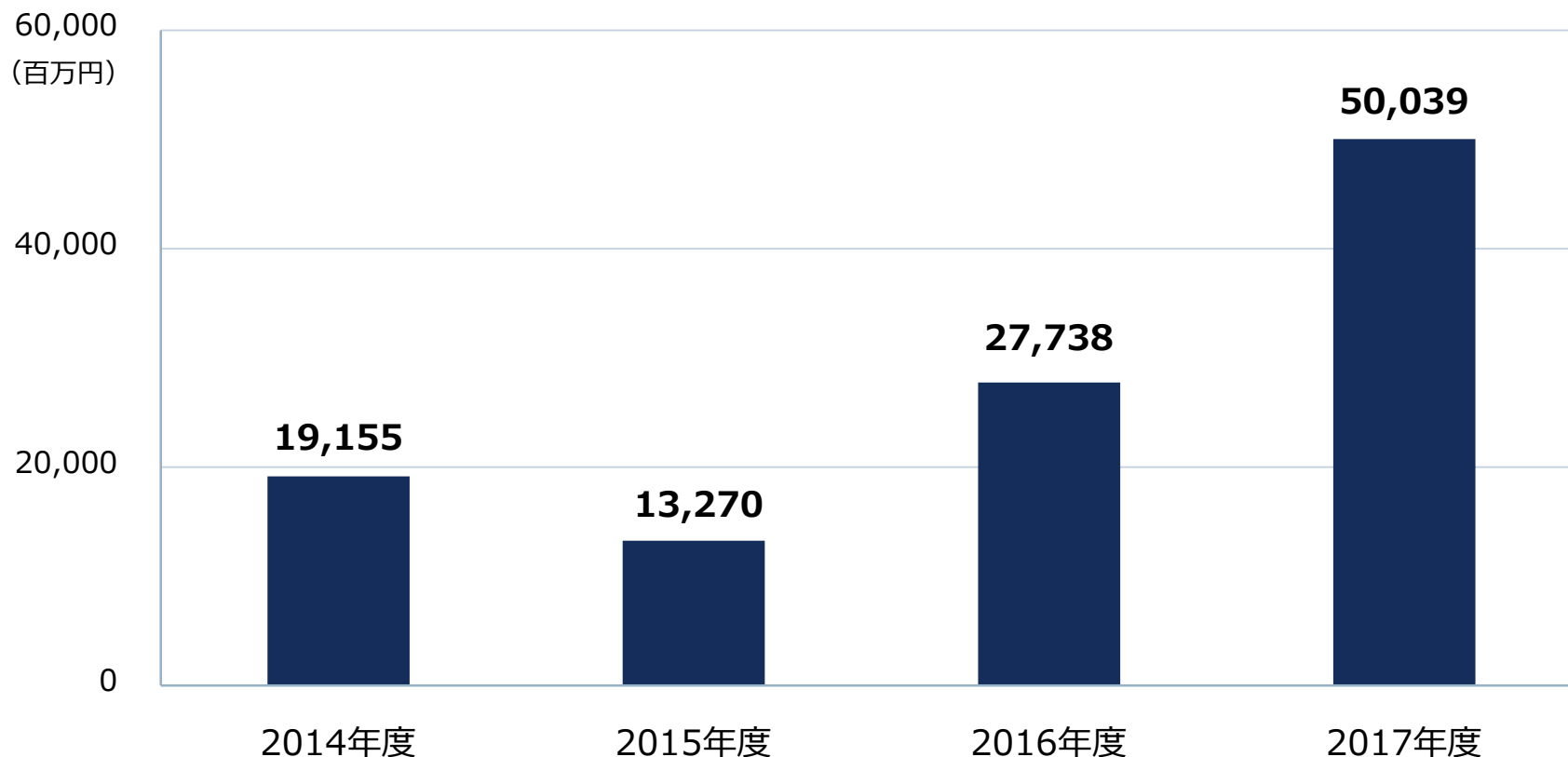
ファンドの新規設立件数を拡大するために、人材強化と営業戦略の再構築を実施

03

ベンチャー企業への支援メニューの拡充と、ファンド運営の効率化を図るための新たなプラットフォームを構築

地域金融機関におけるファンドへの出資推移

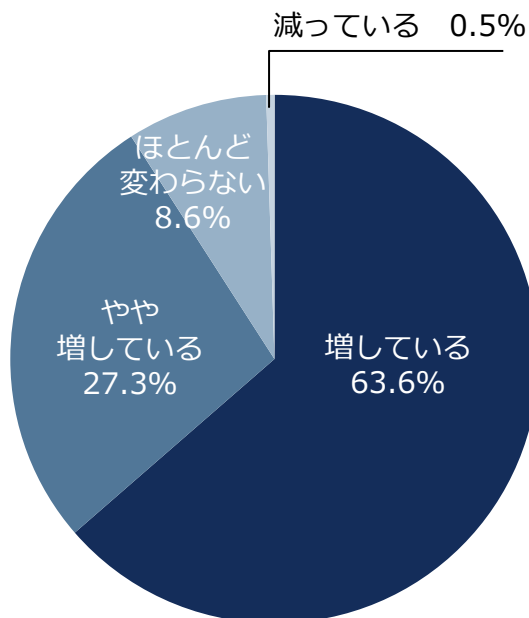
地域金融機関のファンドへの出資額は年々増加傾向にあり、2014年度に191億円だった出資額が2017年度では500億円まで拡大している。



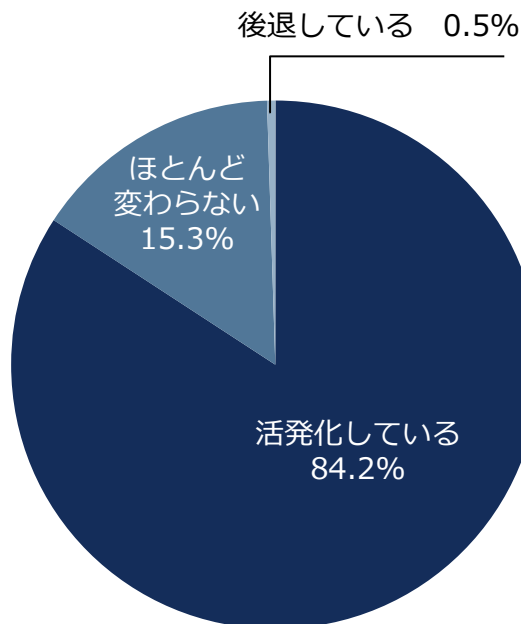
大企業におけるオープンイノベーションの意識

ベンチャー企業との事業提携への意識は5年前より高まっており、大企業にとってオープンイノベーションは必須の戦略となっている。

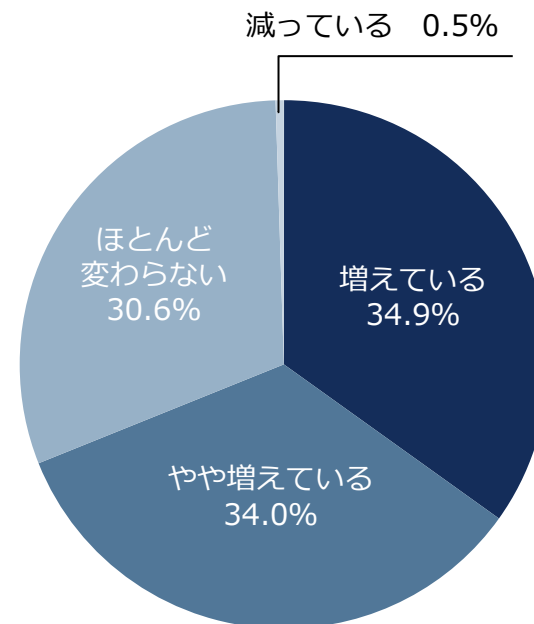
ベンチャー企業との
事業連携は5年前と
比較して増しているか



オープンイノベーションの
取り組みは5年前と
比較して活発化しているか



ベンチャー企業との
事業連携の実績は5年前と
比較して増えているか



地域のベンチャー企業を支援する「地方創生ファンド」を新たに4ファンド設立

(単位：百万円)

エリア	ファンド名	設立	総額
大阪	おおさか社会課題解決ファンド	2017/9	500
岡山	トマト創業支援ファンド	2017/10	300
東京	かんしん未来2号ファンド	2018/1	300
愛媛	えひめ地域活性化ファンド	2018/3	300
兵庫	こうべしんきんステップアップファンド (追加出資)	2017/8	40

新規ファンド設立数

4本

新規ファンド設立総額

1,440百万円

※追加出資分も含む

まち・ひと・しごと創生本部事務局の調査の特徴的な取組み事例としてFVCが運営するファンドが紹介されました

まち・ひと・しごと創生本部事務局（内閣官房）の調査『平成29年度 地方創生への取組状況に係るモニタリング調査結果～地方創生に資する金融機関等の「特徴的な取組事例」～』にFVCが運営するファンドが事例として紹介されました。

参照：https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sousei/pdf/1802_research_kinyu3.pdf

事業会社のオープンイノベーションを目的とした CVCファンドを新たに2本設立

ウィルグループHRTechファンド

設立	2017年5月
ファンド総額	1,000百万円
組合員構成	有限責任組合員：ウィルグループ、無限責任組合員：FVC
投資対象	HRTech領域のサービスを手掛ける国内外の有望なベンチャー企業

新規ファンド設立数

2本

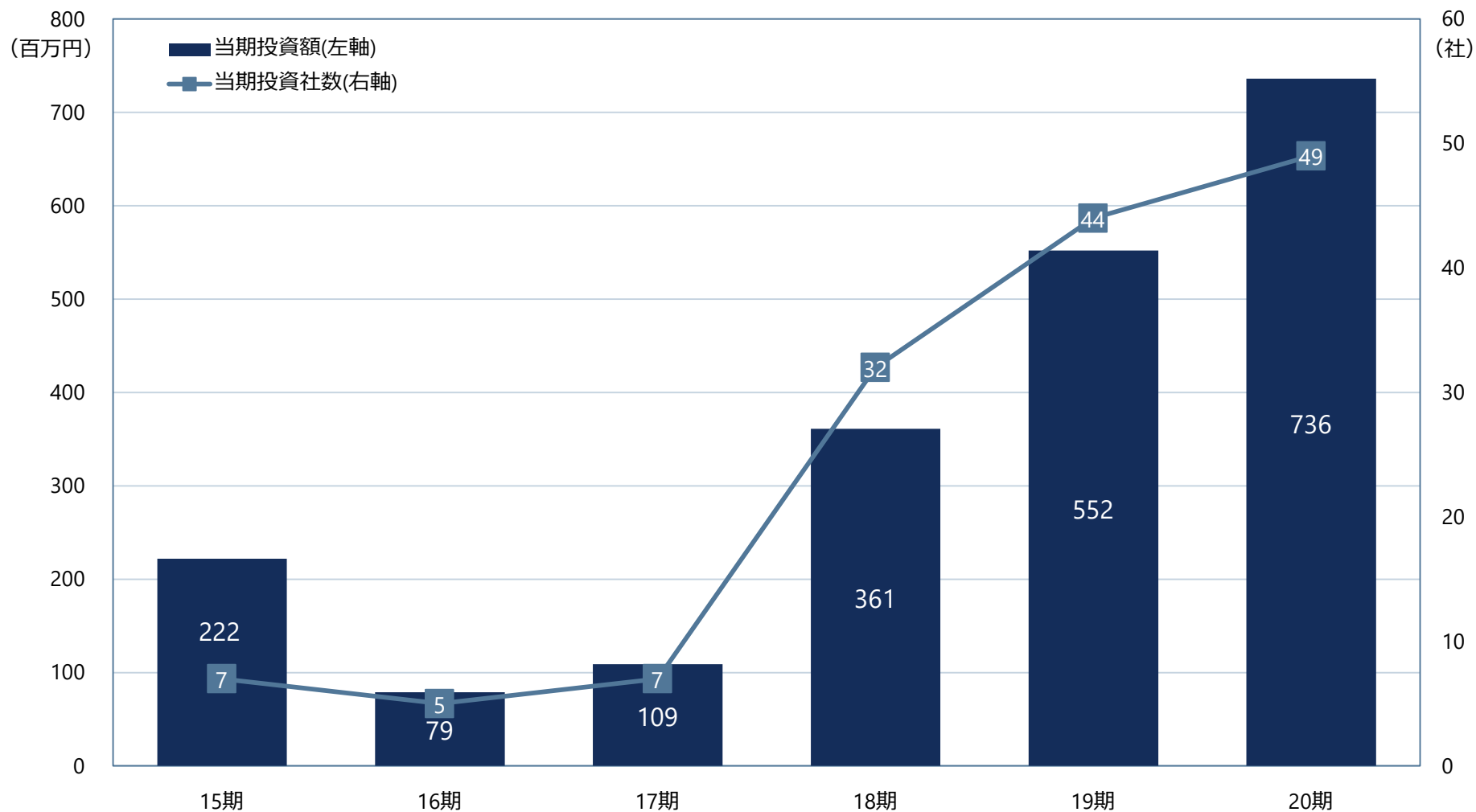
新規ファンド設立総額

1,500百万円

あなぶきスタートアップ支援ファンド

設立	2018年3月
ファンド総額	500百万円
組合員構成	有限責任組合員：穴吹興産、無限責任組合員：FVC
投資対象	国内外に所在する未上場企業（事業シナジーの高い企業ほか）

新設ファンドの増加により、投資社数／額は堅調に推移



※ FVC-EVO Growth Platform Fund Ltd. SPCは除いております。

■ FVC-EVO Growth Platform Fund Ltd. SPCの設立

ファンド総額 **20,000百万円**

- ✓ 日本国内の中堅上場企業を投資対象としたファンドをEVOグループと共同で設立
- ✓ FVCの子会社であるFVCPが案件ソーシング・事業支援を担当
- ✓ 国内上場企業向けのファンドはFVC初
- ✓ 第三者割当（PIPEs）によるエクイティ資金提供



1号投資先：中村超硬

「さかいベンチャー育成ファンド」を通じて、上場前の中村超硬の投資を行っており、中村超硬の事業戦略に関して深い知見と理解を有する

2017年11月 投資実行済み

Rockies Venture Fund(RVF)の投資先企業数が12社に達する

FVC Americasと米国エンジェル投資家ネットワークRockies Venture Club (RVC) 及びRVCの会員と共同でコロラド州のベンチャー企業を投資対象とするRockies Venture Fund (RVF) を2017年3月に設立。**12社のベンチャー企業に投資実行済み。**



設立	2017年3月
ファンド総額	USD4,685,000 (FVCA Holdingsの出資約束金額 : USD1,000,000)
組合員構成	有限責任組合員 : 36のエンジェル投資家、FVCA Holdings, LLC 無限責任組合員 : RVF Management I, LLC
投資対象	コロラド州のベンチャー企業

コワーキングブランド「FVC Mesh」の運営



2016年度までは京都の不動産会社と共同運営していたが、2017年4月よりFVCの単独運営に移行。



コロラド州フォートコリンズ市においてコワーキング事業を展開するものの、コワーキング会員数の増加に時間を要する見込みであることから、9月に撤退。

M&A



All Nippon Entertainment Works(現 : ANEW)

エンターテインメント業界での新たなファンド組成および日本のコンテンツの海外展開等に取り組むためにANEW社の株式を99.6%取得し、連結子会社化。



所在地	東京都港区虎ノ門4-1-17
事業内容	日本国内コンテンツのハリウッド・リメイクを共同プロデュース
資本金	1,115百万円
株式譲渡実行日	2017年6月8日



ANEW社の株式譲渡

ANEW社のコスト削減を軸に支援を進め、自主的な経営に一定の目途が立つところまで回復。その後、経営陣によるマネジメントバイアウト（MBO）方式の提案を受けて、環境変化の激しいエンターテインメント業界において、独立性をもった意思決定により事業を進めることがANEW社の発展に有益であると相互判断し、10月31日に全株式を譲渡。

株式会社デジアラホールディングスの株式を取得し、持分法適用関連会社へ

新たな事業領域の創出に向け、住環境分野事業を展開しているデジアラ社の株式を取得（持分法適用関連会社）



所在地	神戸市東灘区向洋町6丁目9
事業内容	インターネットを利用した大型住宅設備機器等の販売 など
資本金	99百万円
取得株式数	5,080株（持株比率24.8%）
株式取得実行日	2017年9月28日,11月30日
連結売上高	7,381百万円（平成29年3月期）



Future Venture Capital

本資料は情報の提供のみを目的としており、当社が発行する有価証券及び当社が管理運営するファンドへの投資勧誘を目的とするものではありません。また、本資料に掲載されている事項は資料作成時点において入手した情報に基づいたものですが、その情報の正確性及び完全性を保証または約束するものではありません。今後、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。